

令和 7 年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

- 1 会議名 令和 7 年度 第 1 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
- 2 日 時 令和 7 年 5 月 21 日（水）午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分まで
- 3 場 所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 太田寛会長、塩原隆太郎委員、松島弘子委員、宮下修委員、村上誠一委員
青沼宏和委員、猿田久雄委員、鎌崎孝善委員、中島美智子委員（代理胡桃氏）
高橋秀生委員、赤沼健至委員、笠原健市委員、丸山近志委員、中村守良委員
斉藤敦委員、増田早苗委員、中村豊江委員、古屋固四郎委員、大谷高委員
耳塚喜門委員、林幸彦委員、大内清彦委員、宇野俊明委員、松井道夫委員、吉瀬孝委員
布山幸子委員、児林信治委員、中澤清香委員、黒岩一也委員、山田四七夫委員
佐々木真貴委員
事務局：大月政策経営課長、企画担当係長中嶋、企画担当主任矢野
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記 者 2 人
- 7 傍聴者 2 人
- 8 会議録作成年月日 令和 7 年 5 月 22 日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 協 議 事 項
 - (1) 専決処分の承認を求めることについて
 - (2) 令和 6 年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業報告について
 - (3) 令和 6 年度 安曇野市地域公共交通協議会 決算報告について
 - (4) 令和 7 年度 事業計画変更案及び補正予算案
 - (5) 地域公共交通計画認定申請（フィーダー補助）について
- 4 報 告 事 項
 - (1) 各路線運行実績報告について
(あづみん、定時定路線、あづみ野エンジョイバス、中房線、信州まつもと空港シャトル便)
- 5 そ の 他
 - (1) 一般県道槍ヶ岳矢村線（中房線）について
- 6 閉 会
- 3 協議事項
 - (1) 専決処分の承認を求めることについて
【事務局説明】・・・資料 1
・収入支出予算の補正として、それぞれ 12,110 千円を減額し、総額 157,847 千円とする。
《承認》

(2) 令和6年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業報告について

【事務局説明】・・・資料2

- ・市内全域においてデマンド交通を運行した。また、市内2路線で定時定路線を運行した。
- ・デマンド交通は、令和6年4月から土日祝日の通年運行を開始した。
- ・令和6年度中に新たに導入した観光アプリ（市観光課所管）に経路検索機能を搭載し、同アプリ内からデマンド交通の予約ができる機能（MaaS連携）を実装、令和7年3月にサービスリリースを行った。
- ・デマンド交通及びコミュニティバスにおいて、キャッシュレス決済が利用できる環境準備を行った。
- ・市地域公共交通計画の推進に関する事業として、新たな山岳用バス路線（三股線）の導入検討、準備を行った。

《承認》

(3) 令和6年度 安曇野市地域公共交通協議会 決算報告について

【事務局説明】・・・資料3

- ・収入は、安曇野市一般会計から157,589,024円。繰越金及び預金利子と合わせた決算額は157,589,026円。
- ・支出は、運営費として、会議費150,540円、事務費16,421,786円。事業費として、運行費141,016,700円。合計は、157,589,026円。

【高橋委員説明】

- ・監査について、5月14日及び16日に、松本地域振興局および安曇野市商工会にて監査を行った結果、正確であることを確認した。

《承認》

(4) 令和7年度 事業計画変更案及び補正予算案

【事務局説明】・・・資料5

- ・JR大糸線市内駅開業110年記念事業を開催する。日程は7月26日（土）、場所はJR豊科駅を予定している。
- ・鉄道の利用促進及び地域公共交通の価値向上を目的として実施する。地元高校生によるパフォーマンスやeスポーツ体験、飲食ブース出店を行う。
- ・事業変更に伴い、収入支出予算の補正として、それぞれ850,000円を追加し、総額163,849,000円とする。

《承認》

(5) 地域公共交通計画認定申請（フィーダー補助）について

【事務局説明】・・・資料6

- ・デマンド交通あづみんおよびコミュニティバスの運行に関する計画となる。
- ・市内全域を移動するデマンド交通と、東西の鉄道を結ぶ定時定路線を運行することで、交通空白地帯を解消し、病院や商店などへのアクセス、通勤通学の足を確保するものである。

《承認》

4 報告事項

(1) 各路線運行実績報告について

【事務局説明】・・・資料7

- ・令和6年度デマンド交通およびコミュニティバスの利用実績について報告。デマンド利用者は98,047人、定時定路線利用者は21,155人。
- ・デマンドは前年比11,692人の増、コミュニティバスは前年比5,111人の増。

《確認》

【耳塚委員説明】

- ・あづみ野エンジョイバスは令和6年4月13日から運行、年間70日運行し利用者は5,374人。
- ・中房線は令和6年4月26日から11月4日まで運行し、利用者は27,238人。

《確認》

【事務局説明】

- ・信州まつもと空港シャトル便について、乗車人数2,708人であった。

《確認》

5 その他

(1) 一般県道槍ヶ岳矢村線（中房線）について

【宮下委員説明】・・・資料8

- ・4月14日、中房線において崩落事故が発生し、作業員の方がお亡くなりになった。ご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様に心よりお悔やみを申し上げます。
- ・事故の詳細は資料のとおりであり、4月25日から時間規制の歩行者及び関係者車両の通行を確保している。
- ・今後、原因究明のための調査を進めるとともに、普及工事に向けた設計検討を行う。

【耳塚委員説明】

- ・中房線の運行について、崩落現場の手前、観音峠まではA運行の臨時便を除いて予定通り定期バスを運行する。
- ・崩落現場の先から有明荘、中房温泉までは、関係者のご協力により無料のシャトルバスを運行する計画である。
- ・利用者が多い路線であるため、早期の復旧をお願いしたい。